

2024

5/17

金

「肩こりと首下がり症」

整形外科 遠藤 健司 准教授

※来場型開催

演題

肩こりと首下がり症

講師

整形外科

准教授 遠藤 健司 医師



近年、スマホなどの生活様式の変化によって肩こり人口が増加しています。さらに下を向いての作業増加によって、首が持ち上がらなくなる「首下がり症候群」もまた増加しています。首下がり症候群は、首を支えている筋肉が弱くなってしまったため、前を向いて歩けない、ふらつく、下を向いた作業をした後に首が持ち上がらない、高いところを見ることができない、などの症状が発生します。早期に診断治療をすれば改善しますが、最初は肩こりだと思って放置しているうちに、首を支えている筋肉が壊死してしまうとリハビリでは改善しなくなってしまいます。首下がりとは何なのか、どのようにすれば予防できるのか、首下がりだと思ったら何をすべきかについて解説いたします。

日時 2024年5月17日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。